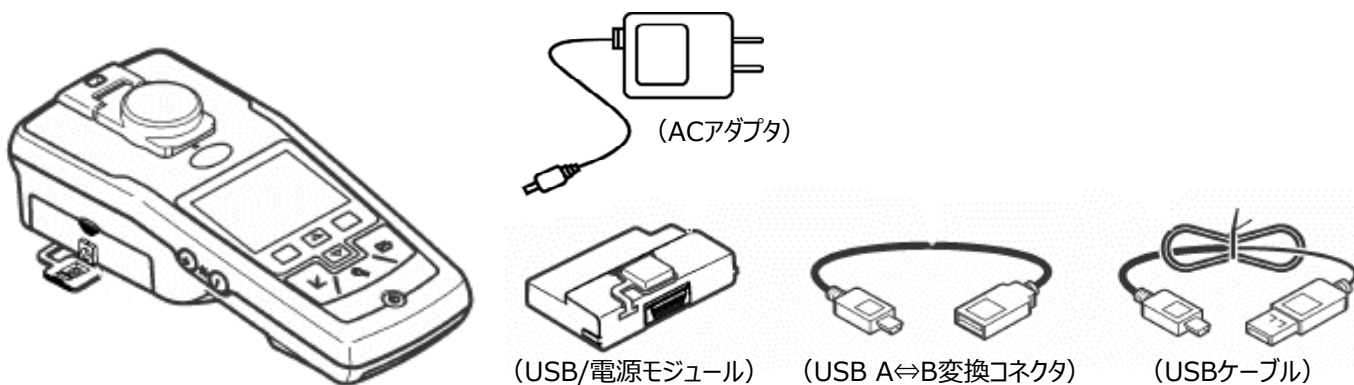


2100Q濁度計を外部プリンタに接続してデータ出力する

東亜ディーケーケー株式会社
HACH技術課

STEP 1. 外部プリンタ接続に必要なものを用意する

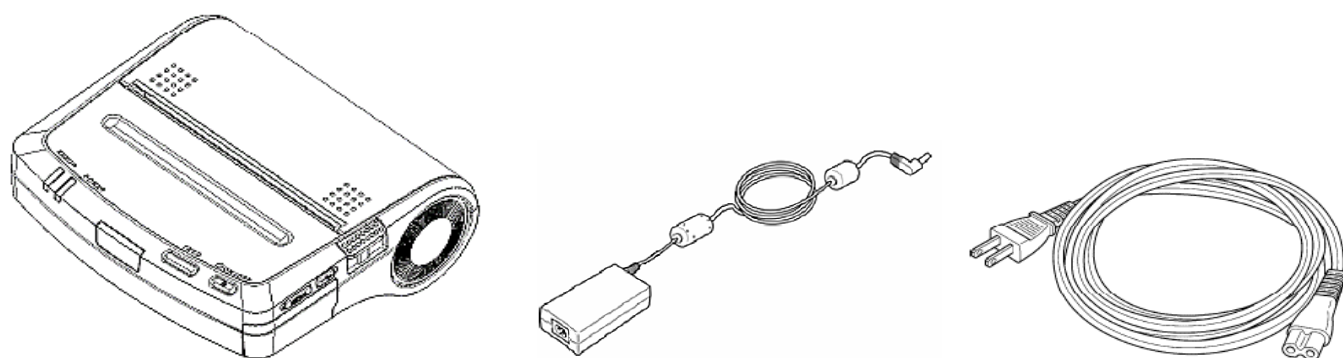
- 濁度計関係： 2100Q/2100Q IS ポータブル濁度計
2100Q用 USB+電源モジュール (LZV813)



2100Q/2100Q IS ポータブル濁度計

2100Q用 USB+電源モジュール (LZV813)

- プリンター関係： DPU-S445 サーマルプリンタ (セイコーインスツル製)
DPU-S445用 ACアダプタ
DPU-S445用 電源ケーブル



DPU-S445 サーマルプリンタ

DPU-S445用 ACアダプタ

DPU-S445用 電源ケーブル

⚠ 注意事項

ACアダプタおよび電源ケーブルは、必ず各機器の専用のものご使用ください
他の機器のACアダプタおよび電源コードを使用しないでください
機器の動作不良や故障の原因となる恐れがあります

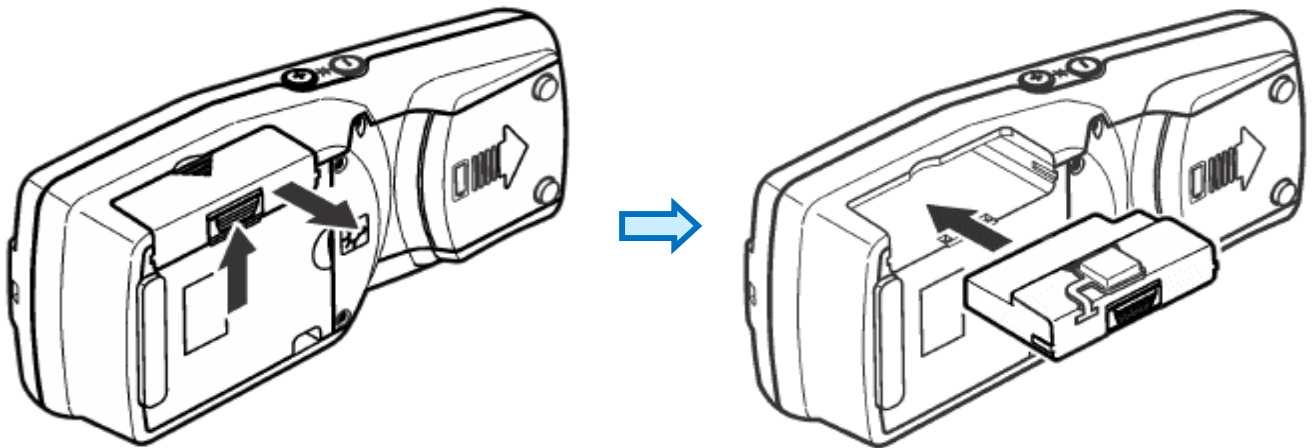
STEP 2. 濁度計2100QとプリンタDPU-S445 を接続する

⚠ 注意事項

本操作の前に、濁度計2100Qの電源がOFFになっていることを確認してください
電源を入れた状態で操作を行うと、機器の動作不良や故障の原因となる恐れがあります

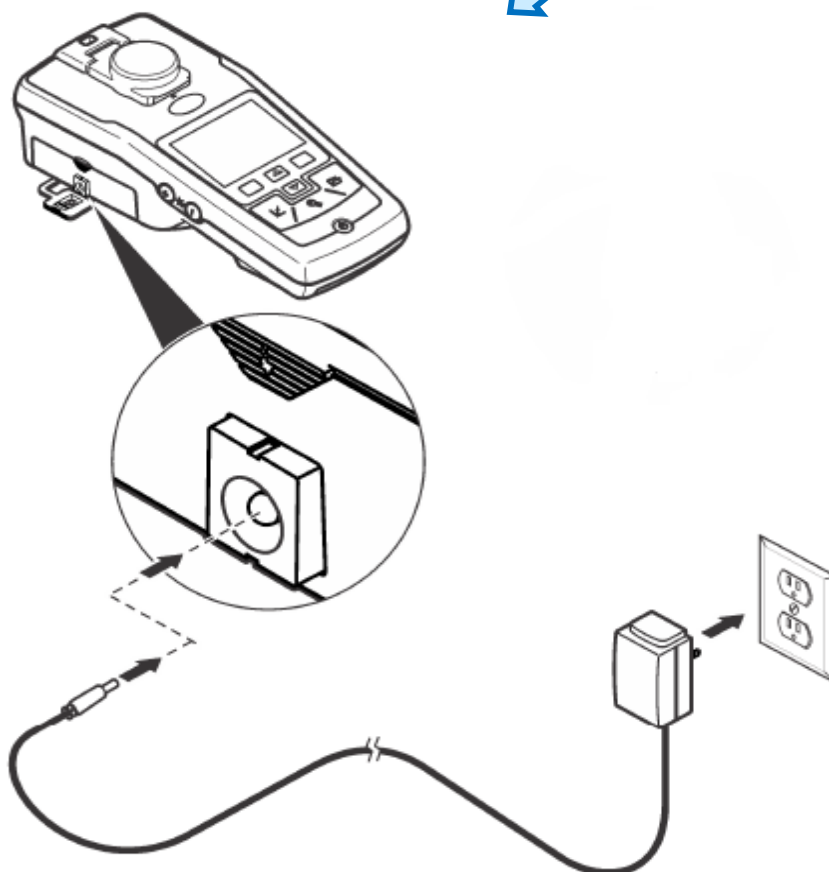
濁度計の用意

- 2100Qのモジュールカバーを取り外します
- 2100QにUSB/電源モジュールを取り付けます
- 2100QのUSB/電源モジュールに、2100Q専用ACアダプタを接続し、電源に接続します



モジュールカバーを取り外して

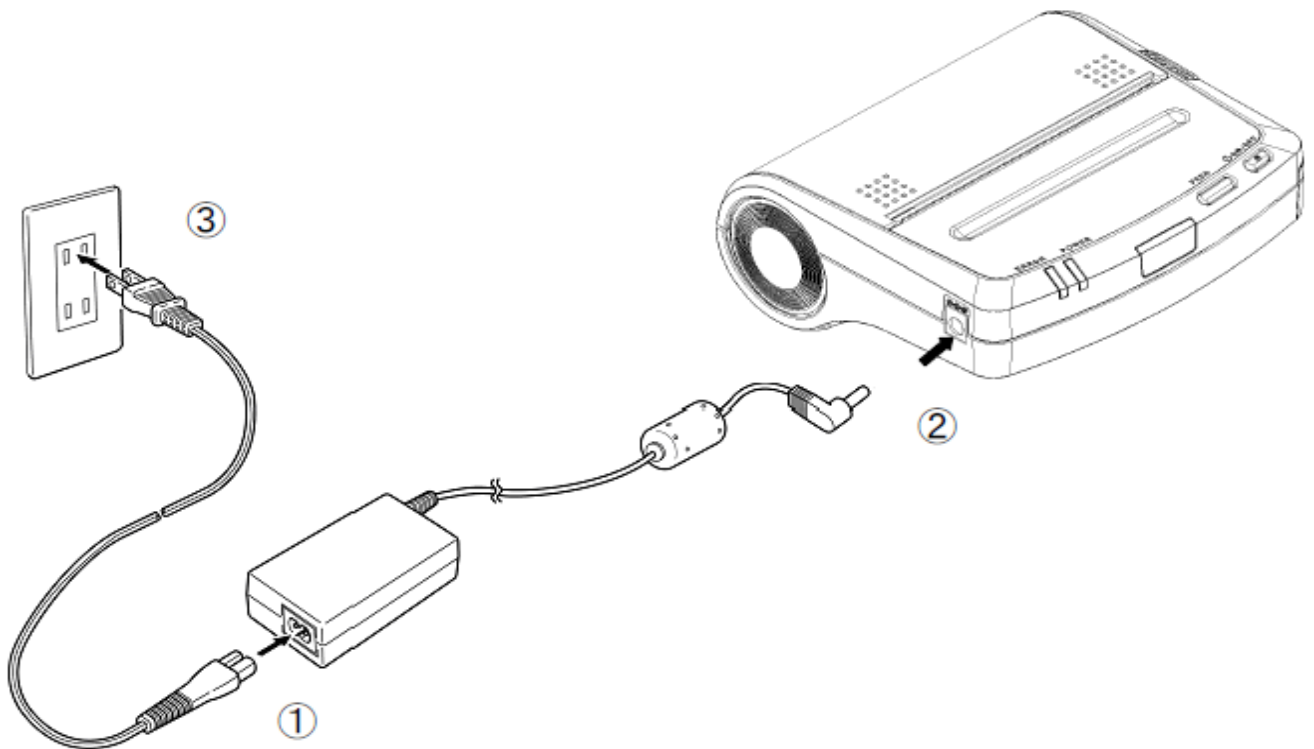
USB/電源モジュールを取り付ける



USB/電源モジュールに2100Q専用ACアダプタを接続し、電源に接続する

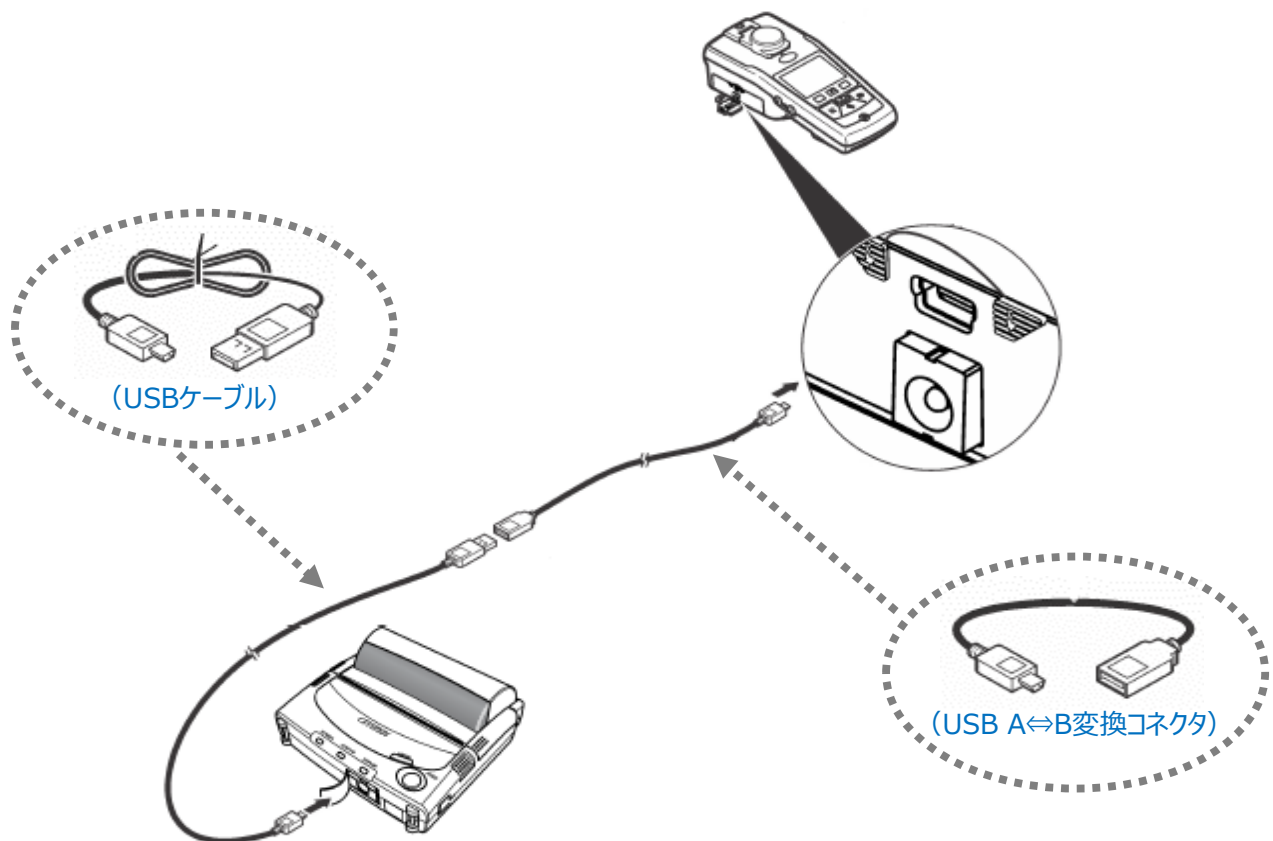
プリンタの用意

- プリンタ専用ACアダプタに、プリンタ専用電源コードを接続します
- プリンタに、専用ACアダプタを接続します
- 電源コードを電源に接続します

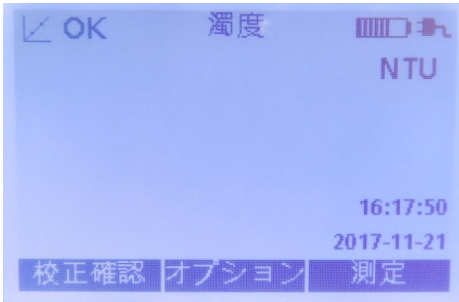


2100Qとプリンタの接続

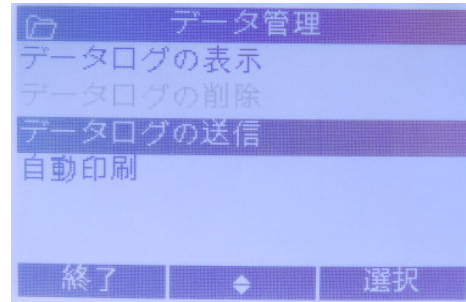
- 2100Qに取り付けたUSB/電源モジュールに、USB A⇔B変換コネクタを接続します
- USB A⇔B変換コネクタにUSBケーブルを接続します
- USBケーブルをプリンタに接続します



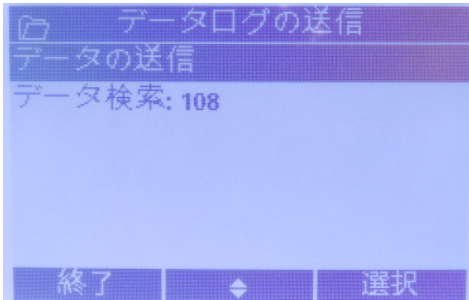
STEP 5. 保存データを印刷する



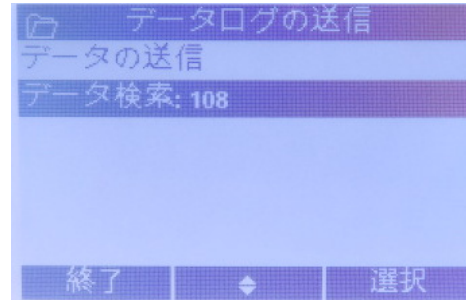
トップ画面



フォルダキーを押して『データログの送信』を選択します



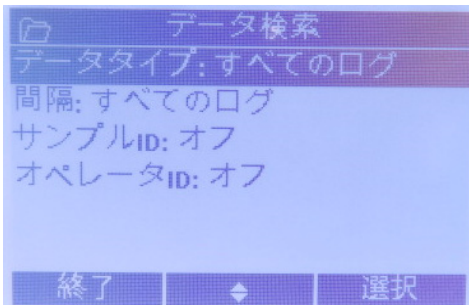
『データの送信』を選択すると、保存されている全ての校正・測定データが印字されます



『データ検索』を選択すると、印字データの絞り込み設定を行えます

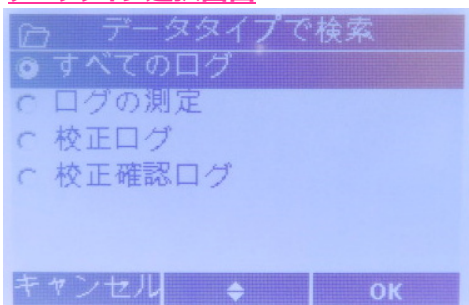


データ検索設定（印字データ絞り込み設定）



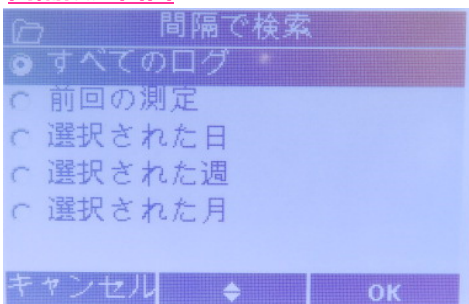
データタイプ :	印字するデータの種類を設定します
間隔 :	印字するデータの範囲を設定します
サンプルID :	印字データをサンプルIDで絞り込みます
オペレータID :	印字データをサンプルIDで絞り込みます

データタイプ選択画面



すべてのログ :	測定／校正／校正確認データをすべて印字します
ログの測定 :	測定データのみ印字します
校正ログ :	校正データのみ印字します
校正確認ログ :	校正確認データのみ印字します

間隔設定画面

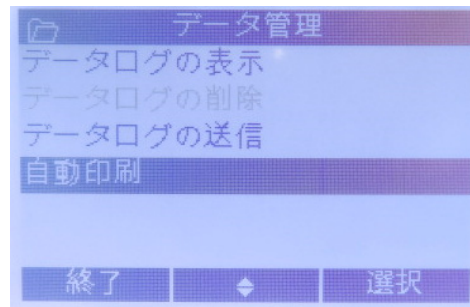


すべてのログ :	すべての日付のデータを印字
前回の測定 :	直近の測定データを1件印字します（校正ログは無効）
選択された日 :	本日分のデータを印字します
選択された週 :	今週分のデータを印字します
選択された月 :	今月分のデータを印字します

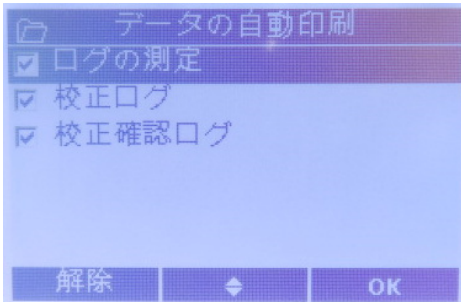
STEP 6. 自動印刷を設定する（測定や校正のたびに自動で印刷されるように設定する）



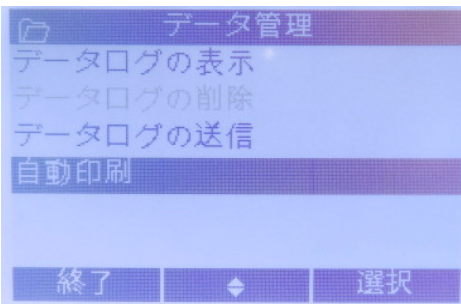
トップ画面



フォルダキーを押して『自動印刷』を選択します



『選択／解除』キーを押して、自動印字させたい内容を選択し、『OK』で保存します



『終了』を押して、測定画面に戻ります

設定内容に応じて、測定／校正／校正確認を行うたびに、自動で印刷されます

- | | |
|---------|------------------------|
| ログの測定： | 一測定ごとに、測定データを自動印字します |
| 校正ログ： | 校正を行うと、校正データを自動印字します |
| 校正確認ログ： | 校正確認を行うと、確認データを自動印字します |

● 保存データ印字例

2100Q S/N:12020C015983 2017-11-21 15:55:07
 ソフトウェアバージョン: 1.01

2017-11-21 15:54:14 0.06 NTU
 ✓ OK: StablCal®

2017-11-21 15:52:31 798 NTU
 ✓ OK: StablCal®

2017-11-21 15:52:18 98.4 NTU
 ✓ OK: StablCal®



2017-11-21 15:52:04 19.8 NTU
 ✓ OK: StablCal®

2017-11-21 15:51:39 10.8 NTU
 ✓ OK: StablCal®

保存データを印字した場合は、

- ・ 装置の型式
 - ・ シリアル番号
 - ・ 印刷日
 - ・ 装置のソフトウェアバージョン
- などの情報が冒頭に印字されます

測定値の右側には測定モードが記載されます

- ・ 空欄 : 通常モード
- ・  : RSTモード
- ・  : 平均化モード

● 校正データ印字例

2100Q S/N:12020C015983 2017-11-21 16:15:18
 ソフトウェアバージョン: 1.01

2017-11-21 14:35:27 ✓ 校正: StablCal®
 標準₁ 20 NTU 20.4 NTU 標準₂ 100 NTU 104 NTU
 標準₃ 800 NTU 810 NTU

● 自動印字例（通常モード）

2017-11-21 15:59:45 0.06 NTU
 ✓ OK: StablCal®



2017-11-21 15:59:53 10.7 NTU
 ✓ OK: StablCal®

2017-11-21 16:00:03 19.7 NTU
 ✓ OK: StablCal®

2017-11-21 16:00:15 99.1 NTU
 ✓ OK: StablCal®

2017-11-21 16:00:26 801 NTU
 ✓ OK: StablCal®

測定値の右側には測定モードが記載されます

- ・ 空欄 : 通常モード
- ・  : RSTモード
- ・  : 平均化モード

● 自動印字例 (RSTモード)

2017-11-21 16:03:02	0.06 NTU	⊙	RST: 平均値です
✓ OK: StablCalⓄ			
2017-11-21 16:05:12	10.5 NTU	⊙	RST: 平均値です
✓ OK: StablCalⓄ			
2017-11-21 16:07:59	19.6 NTU	⊙	RST: 平均値です
✓ OK: StablCalⓄ			
2017-11-21 16:10:12	97.8 NTU	⊙	RST: 平均値です
✓ OK: StablCalⓄ			
2017-11-21 16:12:21	796 NTU	⊙	RST: 平均値です
✓ OK: StablCalⓄ			

● 自動印字例 (平均化モード)

2017-11-21 15:56:45	0.06 NTU	⊗
✓ OK: StablCalⓄ		
2017-11-21 15:57:18	10.8 NTU	⊗
✓ OK: StablCalⓄ		
2017-11-21 15:57:40	20.1 NTU	⊗
✓ OK: StablCalⓄ		
2017-11-21 15:58:01	100 NTU	⊗
✓ OK: StablCalⓄ		
2017-11-21 15:58:22	791 NTU	⊗
✓ OK: StablCalⓄ		